

2011.DEC

釣り人が創る逸品釣具

ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第37号です。

玄海灘は今もっともトップシーズンにきてます。ただ、北西風に弱い場所ですので出れる確率は1/2です。

陽光うらかな日と釣行日が重なったらもう天国です。

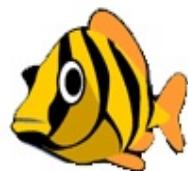
新開発のDANGOは釣れに釣れまくってます。メインの真鯛はもちろんのことヒラマサ、ブリ、ハタなどの高級根魚をどれだけ11月は釣ったことが…。Gear-Labのブログを是非ご覧下さい。

さて、このDANGOですが、玄界灘ではマグロさえも喰ってきます。細いラインではあっという間にラインが無くなってしまうのががっかりします。そんなのが掛かったら「あ～！オマエじゃないよ～！！！」と哀願するような悲鳴をあげて、

期待通りにラインは全部なくなって「バチッ！」と切られるのです。(泣)

そんなら、マグロを釣ってやろうじゃないかと今強気のDANGOを作ります。簡単です。フックとラインを頑強にしてやるだけですから。またタックルもU.S.リールくらいではなくて米国製のアキュレイトのベイトリールに変えます。

いえいえ、ブリやヒラマサが掛かったら今までのフックでは難しいですし、今までにない新たな分野の釣り方として開発してみたいと思います。 楽しみ！ >^_^<

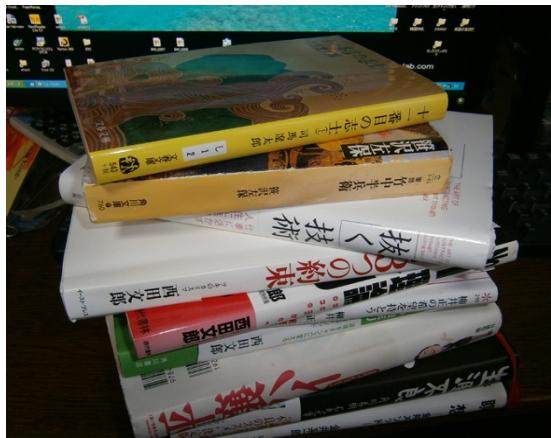


旅暮らし四方山話。(その27)

旅に読書はつきものです。最近、若い人たちと飲みに行くことが多いいろんな勉強をさせていただいてます。そこで大きな気づきが！果たして文明は発展しているか？と言う点です。

若者は、知っているようで何も知らない。で私が知らない分野を彼らはたくさん知っている。まず本を読む若者が非常に少ないので、心配です。私も多読家ではないし速読もできないしそんなに多くの本を読むほうではないのですが、常に本は持ち歩いています。スーツの内ポケットには文庫本が、出張カバンには数冊の本が常にあります。本を読むスピードは1冊250Pで約4時間と遅い方かもしれません。1ページに1分になります。

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



ところでテレビもパソコンも携帯電話もなかった昔の人たちは、結構本を読んでいたと思います。歴史書などを読んでも本を読んでいるシーンが多い。教養を得るために本を読むわけではなく本でも読むほかには時間の潰しがなかったのでしょう。ただ、読書は娯楽と教養の獲得が同時にできる文化の理想型です。

だとすると、学問も教養も娯楽も個別に修得しなくてはならない現代の若者は不幸です。いくら時間があっても足らないほどの環境にあり、本を読めということはかなり難

しいことなのかもしれません。まったくこの文明社会というのは、幸か不幸か、豊かなのか貧しいのかわからないです。

今後、科学はもっと加速し進歩していくから、活字文化はもっと後退していくそうです。そうすると今よりもっと人間はサルに近づきそう。サルが人間になりえた素因は2つあって、一つは火の支配、一つは言語の所有でしょう。前者は科学の後者は芸術の始原です。人間は長いことこの両輪のバランスをとっていましたが、いまや人類の車が危ういほどになってきています。知性の退行がありながら科学に圧迫されるのは実は人間力として全てのパワーダウンかもしれません。

(右上につづく)





私は飛行機で旅をするとき、そうした社会のひな形がここに存在するなど気づきました。

機内サービスは科学の成果そのものであって、私が最初にハワイに渡った30年前は本でも読まないと時間の潰しがやがかったのですが、今では自在に音楽を聴いたり映画を観たりゲームに興じたりと、フライト中に退屈することがないのです。

むろんこうしたサービスはありがたいのですが私たちは提供される素晴らしい環境のなかでいかにして有意義に時を過ごすかという選択を迫られます。

美味しい機内食をいただき映画を観て、テレビゲームに飽きたら音楽を聴きながらまどろめばどんな長距離も極楽です。しかし実は飛行機の中ばかりでなく私たちの住んでいる社会全体がそうした環境を整えていることに気がついたのです。

かくして科学の成果に身をゆだねた私たちの人生は案外に平穏に、知的退行などということすら考えるとまもないほど幸福に過ぎていきます。

ちなみに私は飛行機の中での読書が大好きです。闇に灯る読書灯のしたでお気に入りの小説を読む快楽は何ものにも代えがたいのです。

今、ヘミングウェイの「海流のなかの島々」を再度読んでいます。彼の自伝的大作は時代を超えた共感があります。



ノースキャロライナの黒マグロ釣りお誘い。

2012年1月にGear-Lab USA Incがロスアンゼルスで会社法人設立します。

それを記念して2012年3月初旬にGear-Labはノースキャロライナに黒マグロのジギング＆キャスティングに行きます。アベレージサイズは100～150kgのものを数釣りするというすさまじさです。100年分の釣りを1回の釣行で楽しもうという大それた計画です。

詳しいご案内は近いうちにブログにてご案内いたします。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.Com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>



毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～～)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com



お気楽DETCこと福山でした